

支 援

第1回小・中学校ボランティアコーディネーターミーティング(VCM)

6月8日の中学校VCMを皮切りに、9日に小学校1・4地区合同VCM、13日に2・5地区合同VCM、14日に3・6合同VCMが町田市役所市民協働おうえんルームで順次開催されました。



学校支援センターからは、5月に行われた1・2年目学校支援VCMのこと、今年度の活動計画と一部の変更のこと、第1回事業関連調査回答についてのこと、6月29日開催予定の学校支援連絡会のこと、東京都主催第1回コーディネーター基礎研修についてのこと、



シルバー人材センター活用状況についてのことなどの話がされました。また、出席された校長会、関係機関、連携団体からはそれぞれの会で、学校支援事業の意義および協力への謝意、職場体験事業への協力の要請、福祉体験学習への協力について、多世代交流の取り組みに



ついてなどのお話をいただきました。

各VCから各校での活動および活動計画についての報告、情報提供、課題提起などがあり、若干の協議がされました。部活指導者の在り方/学校におけるVCの位置づけ/学校からの要望の内容とVCの対応/地域連携教員の役割とVCとのかかわり/学校間での物品の貸借についての手順/学校支援ボランティア関連予算についてのこと/サマースクールの意義とVCのかかわり/夏の開放プールの位置づけとVCのかかわり/「まちとも」とVCのかかわり/学校支援から学校地域協働への移行にかかわること/複数VC校での相互の関係づくりなど、話題は多岐に亘るものでした。



南大谷小学校 5年 「田植え」

6月5日（月）に南大谷小学校の5年生が、校地内の水田で田植えを行いました。1年生から6年生までのすべての学年が「食べられる野菜作り」



に取り組む南大谷小学校で、5年生が取り組むのは「お米作り」です。毎年、5年生は粳から精米までのお米作りの全作業に全児童が取り組みます。苗は牛乳パックを利用して、教室で児童一人ずつが粳から育てます。田の代掻きは前週の作業でした。

水田を前に整列した児童は、教員からも児童からも

「師匠」と呼ばれている農業専門家ボランティア鈴木清一さんの指導を受けます。苗は3～6本をまとめて根元のあたりを3本の指で鉛筆と同じように持つ。その指の第1関節が隠れるくらいの深さに差し込んで植える…。さらに専門的な説明を受けます。イネ科の特徴のひとつに「分蘖(ぶんげつ)」がある。根元付近から株分けをすることをいうのだが、これにより稲は24



倍に生長する…。児童はメモを取りながらしっかり聞いていました。

靴を脱ぎ、靴下のままで水田に入ります。植え込む間隔で結び目をつけた縄を渡し、手前から順に苗を植えていきます。田の中に入ってから作業になる児童からは、一足一足「ウェー…、ウアー…、ウォー…」と声を上げながら進む声も聞こえてきます。どの児童もま



じめに作業に取り組みますが、植え込み方が浅くて倒れかけてしまう苗、位置がばらばらに植えられた苗など、先生方からの指導でやり直す場面もあちらこちらに見受けられました。児童がお米作り・農作業のたいへんさを実感し、食についての考えを深めるきっかけのひとつになる授業です。

数年前に、食育「食べられる野菜作り」に学校が



取り組む方針を受けて、当時のVCのつながりから農業専門家にボランティアとして指導をお願いすることになりました。現在は毎年、学校の指導計画に基づいての指導者への連絡、また作業のボランティアの手配などをVCが行う中で進められている学習活動です。

VC活動報告について

6月8日に開催された「東京都学校支援ボランティア推進協議会事業」担当者会議で、区市町村の補助事業担当者に向けて補助金事務処理についての指導がありました。重要な内容が含まれていますので、担当者会議で配布された「補助金事務処理概要について」を前年度に引き続き掲載します。適切な事務処理をしていただきますようお願いします。

コーディネーター等の活動日誌作成にあたっての考え方

記載内容について

業務内容の記載に当たっては、事業実施要綱に規定されたコーディネーター等業務の考え方を基本とした上で、コーディネーターとしての業務が分かりやすく適切に表現されるよう願います。対象となる活動はコーディネート活動であって、「VCによるボランティア活動」、「コーディネートにつながる日常活動」は対象とはならないことを理解願います。

VC活動月報

活動月報	2016年〇月分			副校長印	校長印
所属	〇〇小学校	VC氏名	〇〇〇〇	㊟	㊟

活動日	活動時間	本人印	備考欄
〇月〇日(〇)	14:00~16:00	㊟	
業務内容	<input type="radio"/> 出前授業の立会い及び指導者への提言・フィードバック <input checked="" type="radio"/> 出前授業立会い(→立会いだけでは×)		
活動日	活動時間	本人印	備考欄
〇月〇日(〇)	10:00~12:00	㊟	
業務内容	<input type="radio"/> 入学式に出席して学校応援団の説明 <input checked="" type="radio"/> 入学式出席(→出席だけでは×)		

活動日	活動時間	本人印	備考欄
○月○日(○)	14:00~15:00	⑨	
業務内容	○ PTA 会合において学校応援団への協力依頼 × PTA 会合出席(→出席だけでは×)		
活動日	活動時間	本人印	備考欄
○月○日(○)	13:00~16:00	⑨	
業務内容	○ 芝生ボランティアの調整・説明 × 芝刈り(→ボランティアの業務)		

※(様式は簡略にしてあります)

コーディネーター等謝金(補助対象経費)の支払い対象とする場合の業務内容の記載については、

◎第三者が見ても容易に理解できる記述となっていること。

◎コーディネーター等の業務として、適切であると判断しやすい記述となっていること。

※例えば、「○○祭りへの参加」「入学式への出席」「打ち合わせ」のみの記述では、コーディネーター等謝金の支出対象とはなりません。その活動に関わる中で、コーディネーターとしてどのような役割をするのか明確に記述すること。

また、やむを得ず自宅で業務する際は、自宅での業務を確認するため主な作業内容を記述し、その際作成した成果物等がある場合は、求めに応じて提示等できるようにしておくこと。

<諸謝金に関する不適切な事例>

▽謝金の二重払い

放課後子ども教室(まちとも)コーディネーター、図書指導員、生活指導補助者などを兼務の際の報告時間の重複

▽コーディネーター業務ではないボランティア活動(「芝刈り」、「見守り」、「懇親会への参加」等)に対するコーディネーター謝金の支払い

▽業務に従事していない時間に対する謝金支払い(昼休み時間等)